



組合員の皆様へ

山形県理容業環境衛生同業組合 理事長

富樫 富太郎

— 理容会館建設の推移と理容会館建設に
踏み切るようになった事についてのお願ひ —

組合員の皆様、長年の懸案事項であった理容会館建設について腐心して参りました結果、理容協議会発足から丁度十周年を迎えてやっと今年が会館建設完成の年になる——と、一月十四日の新年宴会の席上、又五月二十六日の五十五年総代会においても私が説明申し上げ、御承認を願って参りました。

旧県庁近くの新築西通りの二〇〇坪(旧町村会館、旧開拓会館)の土地の貸与が確定し、既設の建物は、五十四年度の県の予算で取りこわされ

整地も二月末には完了、あとは理容組合の皆さん、次第という事になったので、各理容組合も、又理容団体協議会としても会議を重ね、早急に各理容組合の加入する社団法人組織をつくり、すぐにでも建設に着手するため各組合の必要坪数に応じた設計図も何回か作成しては書き直して、いよく本設計図も出来、当理容組合は、その中の二十五坪(会議室十五坪、事務室十坪)を要望して居りました。ところが突然七月九日付山環協第三十二号の会田理容団体

— 発行所 —
山形県理容業環境衛生同業組合
山形市相生町8/51
郵便番号 990
電話 0217番40
振替貯金口座 山形 1366
発行者 富樫 富太郎
編集者 保坂 菊治
購読料 1部10円 毎月1回発行

協議会長名の速達文書によると、県環境衛生課より、これまでの新築西通りの土地から小姓町の元県立女子寮(白菊寮)の方を使用してはどうかとのあっせんがあったので、七月十四日に理容団体協議会の理事会(各組合の理事長)を開催して相談したいという事でありましたが、七月十四日(月)は本組合の最大行事の一つである理容競技大会の当日であるので出席出来ない旨連絡し、十一日(金)に白菊寮を検分させてもらう旨、県と会田会長に連絡し、当日の十一時半、県管財課の担当係、会田会長、今野理容団体事務局長及び本組合よりは私の他安孫子事務局長帯同の上検分して参りましたが、場所

あり内部構造上そのまゝ入居する事は出来ない様な状態でありました。それで現在の天井の高い、明るい事務所から、何を好んでこの様な所に移る必要があるだろうかと考えました。

然し、十四日の理容協の会議では殆んど代表者が寄って相談した結果、金もかけないで入居出来るのならこれほど良い事はないという様なムードであったとの事でありました。更に七月二十四日、これを煮つめるために、再度理容協の理事長会議を開いて、決定するやに思われたので、七月十七日安孫子事務局長を派遣して、理容組合としては、総代会で承認された事項なので、理事会の合意も得ないで安易にこれに同調する事は出来ない旨を伝えさせ、七月三十日に緊急理事会を招集して以上の事態をどう受け止め、どう対処するかについて協議致しました。

其の時、責任ある私として皆さんの代表者である理事の方々に一度白菊寮を見学し、更に二十年前、青柳大先輩が取得して置いた現駐車場を、検分して会議に臨みました。そして、いろいろと各理事の現状に対する忌憚のない意見を出し合って議論を重ねて頂きました。勿論、守谷相談役も終始会議に参加して頂き指導、助言を頂きました。

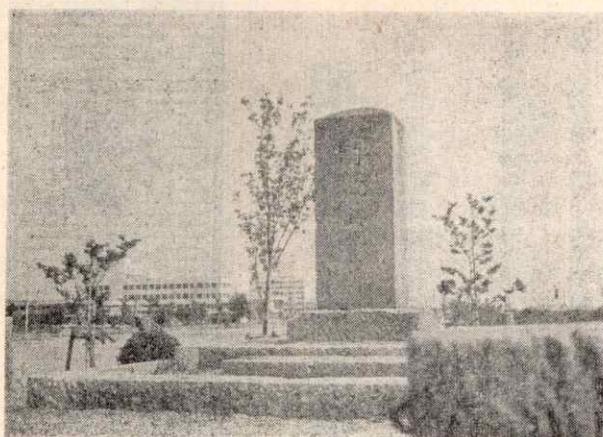
結論として私から次の三つの条件の内いずれに御賛同を得られるかについて御協議願った次第です。

① このまゝ現在の事務所を引きつゞき有海氏にお願いする。

② 涙をのんで理容五団体と大同団結をとり県当局の指示する白菊寮に入居するか

③ それとも理容単独で当組合現駐車場に(同額負担で倍以上面積)理容会館を建設するか。

以上のことに集中審議をいたしましたところ、折角組合員の合意を得て建てようとして来たんだから、此の灯を消さないで私共理容組合の会館を建設すべきだ。白菊寮は全然問題外のことになったけれども、いざそれならと考えて見ると、たしかに理容会館としての建設の合意は総代会で承認されたが、理容会館とし



米沢の医学と解體供養碑

ての合意は得て居ないので、これを再度総代会（臨時）に差戻して御承認を得なければならぬという重要な問題がのこされて居るけれども、たとえば臨時総代会を開くとすれば、ざっと一〇〇万程度の経費がかかるし其の予算もない実情を理事の皆さんも充分承知して居り理事支部長の立場で各々自分の支部の納得を

とりつけて下さるとの合意と全員意を新たにして満場御決意いただいたことを体して出来得る限りの機能と経費を相見ながら早期実現にとりかゝりたいと存じますのでかゝる不測の事態を何分とも充二分に御理解御承認下さる様御願ひ申し上げます。

昭和五十五年七月三十一日

米沢市役所、東

通りをテニスコート南脇に、足を延ばすと、小高い丘の上に、解體供養碑が建っている。

この碑は医学研究で、解體に供された遺体の霊を、永遠に鎮めまつるため、明治四年、関係者によって建立されたものである。かつて、米沢で解體にかゝる史実については、古

く、今から百八十年前、鷹山公時代に刑死者を腑分けした記録がある。

当時日本には、オランダから新しい西洋医学が渡り、長崎の街を本拠として、その研究熱がすこぶる盛んになっていった。米沢からも遠く長崎に留学してオランダ医学を勉強した人が多く、又江戸に出て杉田玄伯というオランダ医学者について研究した人もあって、米沢藩の医学は一段と進歩し、当時医学の面では「米沢は東北の長崎」とまでうたわれていた。

昔から、米沢の街は伝統的に医学の研究が盛んな土地として知られていたのです。

明治三年米沢医学校から、当時の中央政府へ、刑死者の解剖を申請し、許可されていることなどから、明らかである。米沢での医学発祥の歩みを回顧し、この碑をその象徴史跡として伝わっているものである。

米沢支部 広報部長

小関 茂夫

昭和五十五年度 理容競技フイステイバル

第十九回 山形県理容競技大会開かる

七月十四日（月）午前九時より

上市市、村尾旅館大ホールに於て、山形県商工会連合会、各市町村商工会、山形県理容環境衛生同業組合主催により、第十九回理容競技大会が、出場選手八十三名と大会初まって以来の参加により、盛大に開催された。

白岩県商工会連合会々長、富樫県組合理事長の開会の挨拶に初まり、米沢市、田中法



栄選手の力強い選手宣誓。十時より競技開始。ワインディング、DO・パリエーション、メンズヘア・クラシカル、バックスタイルアイロン仕上げ。最後に華麗なる、エレガントヘア、レディスカット。花園を思わせる会場は、



最高潮に達し、興奮の渦に包まれた。以上五部門に分かれ、日頃磨いた腕を、競い合った。	第一部 クラシカル、バックスタイル、アイロン	優勝 河北町 後藤 憲雄 二位 藤島町 富樫 久雄 三位 山形市 渡辺 美津子 四位 山形市 結城 幸一 五位 南陽市	優勝 山形市 佐藤 和幸 二位 鶴岡市 伊藤 千春 三位 酒田市 菅野 孝男 四位 東根市 足達 茂 五位 東根市 滝花	第二部 エレガントヘア、レディスカット	優勝 山形市 佐藤 一江 二位 米沢市 大淵 礼子 三位 山形市 高根 要子 四位 山形市 加藤 佳代子 五位 山形市	第三部 DO・バリエーション	優勝 山形市 佐藤 一江 二位 米沢市 大淵 礼子 三位 山形市 高根 要子 四位 山形市 加藤 佳代子 五位 山形市
優勝 鶴岡市 上林 浩 二位 酒田市 五十嵐 晴 三位 長井市 稲垣 義晴 四位 東根市 植松 行雄 五位 山形市 海津 董	第四部 メンズヘア(ウィッグ使用による)	優勝 温海町 長南 久明 二位 鶴岡市 七森 昭子 三位 藤島町 五十嵐 均 四位 大町市 鈴木 均 五位 山形市 高橋 真智子	優勝 山形市 佐藤 一江 二位 米沢市 大淵 礼子 三位 山形市 高根 要子 四位 山形市 加藤 佳代子 五位 山形市	第五部 ワインディング	優勝 山形市 佐藤 一江 二位 米沢市 大淵 礼子 三位 山形市 高根 要子 四位 山形市 加藤 佳代子 五位 山形市	第三部 DO・バリエーション	優勝 山形市 佐藤 一江 二位 米沢市 大淵 礼子 三位 山形市 高根 要子 四位 山形市 加藤 佳代子 五位 山形市

以上の方々が上位入賞し、多忙な職務の寸暇をさいて業界発展に御尽力下さる板垣県知事より優勝者の表彰授与と御挨拶の誉手を賜りました。又東北大会で惜しくも第二位となった、大滝亭子嬢の「私の選んだ道」意見発表も同時に行われた。尚会場脇のロビーに於て、美術展が開催され、富樫理事長の水彩画初め、油絵、写真、手芸品と多彩な出品の数々米沢地区では、組織活動の一端として、書道教室の成果が、発表される等西牧国金米沢支店長の御挨拶の中で述べられた巾広い趣味を仕事に生かす、心豊かな美容師像の育成に、今後共、大いに期待する限りです。

米沢支部 荒井 記

来賓の方々に一寸インタビュー

今日のヘア・フェスティバルを御覧になられて感想を一言、

山本正 天童商工会々長

こういうヘア・フェスティバルは初めてです。先年ヨーロッパ旅行の際、パリであるサロンを見る機会がありました。このういうカラフルなデザインは向うから流れて来たものでしょうね。美容師の仕事もやるんです。美容師の仕事もやることなやると、日本人にはかなわないうでしようね。レディ

ける

富樫理事長

全体的にレベルアップした事は、大変良いが、きわどい勝負に對する緊張感に、欠ける物足りなさが感じられる。例えば、刈布の取り忘れとか。又会場のスペースにも問題があるせいかもしれないが役員の運営にも一寸スムーズさに欠ける感じがします。今後は昨年今年と業界以外の方の協賛を得、関心を持って頂いた事を、土台に、一般消費者にも、目を向けて参加して下さい。場を設けるとか、工夫が大切だと思います。

山形新聞、上の山記者

素晴らしいですね、楽しいですよ、レディスカットの仕上りを見せて頂きましたが、男の目で見ると、やはり赤い服に赤いヘアと言うのが魅力的ですね。なんか男心をくすぐるというか。ヘアの色も様々有って、驚きました。

涙

天童支部 伊藤政一

人間として生まれて、自分の人生を自分で左右出来るものでしょうか？

ある学者は人間の生まれた時を汽車の乗客にたとえて、東海道線に乗っている人、奥羽線に乗っている人、中央線に乗っている人、と産声をあげたらその人の運命は大体決定するとのことです。東海道線に乗っている人が車中で急に山形へ行きたいからと言っても、それは不可能に等しいからです。

こんな事を書いたのも私達青年部では毎月一回天童郊外にある、救護施設「紅花ホーム」へ散髪に行っているからです。収容人員百三十余名全員が生まれながらにして、知能が遅れ精薄者と決められ、社会復帰はもうらん、自分の事も出来ずに付添いの人がいなければ生きてゆけない人ばかりなのです。

家族の中に一人でも、そういう人がいたら……と思うとき、私達の散髪奉仕は当り前

のような気になるのです。現在にはメンパーも定着しましたが最初は大変でした。

よだれがいやだとか……幼児のように泣いて動くとか……抱きついて来るとか……変な臭いがするとか……でも自分の意志で精進者に生まれ

た訳ではないはずで、世の中の不幸を一身に背負い込まされて生きているみなさんです。『家さ帰りたいけど、お

っかが来るな……』と言うから……と、収容者の一人が淋しくつぶやいた言葉が耳から離れず胸のつまる思いがします。

どんな思いで、その母親は子供に『家へは来るな……』と言ったのか想像を絶するに余りあり、夜ごと枕を濡らして

涙

私達徒弟時代は業界の事は

床屋と呼ばれていました。夜おそく迄仕事をして、休みは月一回でした。

今は時代の波に乗って就業時間も短かく、その名も理容業、理容師と呼ばれていま

す。あゝそれなのに、それなのに……。

去る六月四日の夕刊を見て、腹が立つやら情けないやら、流した涙、涙、涙。

「床屋さんも週休二日制」「人並みに日曜休み」

何事も進んでいる現在。報道機関紙上に床屋。人並みにとは何んたる言葉でしょう

か。ではクリーニング業を現在セントアク屋と呼んでいます

か。記者さんよ、もう少し勉強して出直さないよ。私達理容業、理容師は人並みな生

活を送ってこなかったのです。ようか？涙が流れます。

県内初めて、ソフトボールの交流試合 行われる

花の長井、あやめの花もちょうど見頃の、六月三十日、午前十時から、長井市営球場で南陽（ラッキーズ）対長井

（フレンズ）の交流試合が行なわれました。わざわざ、長井まで足を運んでくれた南陽

の選手達、この日はあまりに激しい長井の応援に、びっく

りした為か？少々不調の様子でした。

又、両チーム共、選手層としては、ミス・ミセスの混合

ですが、平均年齢？才とは思えない若々しいプレーの続出で、この日の雲り空を吹き飛ばすような激しい打撃戦で、善戦奮闘した試合でした。

野球同様、これからたくさん

のチームが出来て、交流試合が出来ようになることを希望します。南陽から応援に

（スコア）

長井（フレンズ）

南陽（ラッキーズ）

九月のこよみ

一日(月)	二日(月)	三日(火)	四日(水)	五日(木)	六日(金)	七日(土)	八日(日)	九日(月)	十日(火)	十一日(水)	十二日(木)	十三日(金)	十四日(土)	十五日(日)	十六日(月)	十七日(火)	十八日(水)	十九日(木)	二十日(金)	二十一日(土)	二十二日(日)	二十三日(月)	二十四日(火)	二十五日(水)	二十六日(木)	二十七日(金)	二十八日(土)	二十九日(日)	三十日(月)
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

野球場同様、これからたくさん

のチームが出来て、交流試合が出来ようになることを希望します。南陽から応援に

（スコア）

九月の行事

- 一日(月) 第五回理事会
- 二日(月) 専修講習(6) フォーマルカットブロー
- 三日(火) (山形会場) 布施邦芳(米沢会場) 石沢義一
- 四日(水) 第二回常任理事会
- 五日(木) 大学科(4) 理容刃物工学(滝沢講師)
- 六日(金) 専修講習(5) ロングヘアーカット
- 七日(土) (余目会場) 富樫憲雄
- 八日(日) 全理連第四回理事会
- 九日(月) 融資審査会 各部委員会
- 十日(火) 敬老の日
- 十一日(水) 家庭の日
- 十二日(木) 秋分の日
- 十三日(金) 彼岸明け
- 十四日(土) 小国まつり(小国町)
- 十五日(日) 小国まつり(小国町)
- 十六日(月) 小国まつり(小国町)
- 十七日(火) 小国まつり(小国町)
- 十八日(水) 小国まつり(小国町)
- 十九日(木) 小国まつり(小国町)
- 二十日(金) 小国まつり(小国町)
- 二十一日(土) 小国まつり(小国町)
- 二十二日(日) 小国まつり(小国町)
- 二十三日(月) 小国まつり(小国町)
- 二十四日(火) 小国まつり(小国町)
- 二十五日(水) 小国まつり(小国町)
- 二十六日(木) 小国まつり(小国町)
- 二十七日(金) 小国まつり(小国町)
- 二十八日(土) 小国まつり(小国町)
- 二十九日(日) 小国まつり(小国町)
- 三十日(月) 小国まつり(小国町)